

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 26日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区本町4-1-1

県内企業等の名称 スクエアライン株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 加藤 幸将

スクエアライン株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念である「共に生きる」をテーマに掲げ、企業と求職者双方へのベストソリューションをご提供する独自の運営方針を貫き、地域社会の発展と雇用増進に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電子保存、管理両面印刷などを取り入れることで、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙年間使用量:60,000枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙年間使用量:10%削減 <3年後に向けた指標> コピー用紙年間使用量:3%削減
社会	IT導入により、派遣スタッフ管理のための事務作業を削減する。 <(現状値)2023年の数値> 1人あたりの派遣スタッフ管理事務の平均作業時間:85分/月	<2030年に向けた指標> 平均作業時間:10%削減 <3年後に向けた指標> 平均作業時間:3%削減
経済	派遣スタッフへの技能講習受講費支援や、派遣先企業と連携して働きながら技能向上できる環境整備を行うことで、地域の雇用を増やす。 <(現状値)2023年の数値> 埼玉県内在住のスタッフ人数:201名	<2030年に向けた指標> 埼玉県内在住のスタッフ人数:329名 <3年後に向けた指標> 埼玉県内在住のスタッフ人数:259名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。